

3年生を送る会で得たもの

240301

3年生を送る会が、素晴らしい感動を残して幕を閉じました。今回の送る会では、1、2年生が盛り上げようと、常に大きな声で掛け声を響かせたり、手拍子を途切れさせることがないように叩いていたりしていることが印象的でした。テーマ「笑time Spring ～次のステージへ～」を達成して、3年生に楽しませよう、笑ってもらおうという意思を強く感じました。徹底して、盛り上げるといふ演出がなされていたと思います。そこには、2年生のリーダーシップ&実行委員による「綿密な計画」と「雰囲気づくり」があったからだと思います。そして、その裏には大変な努力があったことは間違いありません。

その努力をしつかりと感じ取っている子がいることを学級通信で知ることができました。

< 1年生の振り返り>①

今回、私は裏でがんばって準備してきた人たちの努力が見えました。裏で誰かのために行う姿は、どんなときでもかっこよく、感動するものだとわかりました。この送る会で、裏の努力はかっこいいということに気づけました。2年生になったら「先輩」です。誰にも気づかれなくても、裏で努力できる人になりたいです。

< 1年生の振り返り>②

ふと気付けば本番の私の「本気」は、練習が始まった日からどんどん変わっていきました。「本気」の大きさが変わり、まだやれるとなり、大きく変化しました。そのとき初めて自分が思っている「本気」は限界ではないことに気がつきました。「本気」は超えられるのです。これからも自分の「本気」をぬりかえながら日々前進したと思います。

< 1年生の担任のコメント>

この振り返りを伝えてもらった2年生の実行委員は、感動し、大喜びをしていたそうです。「こんなふうに思ってくれる子がいるんだ。頑張っただあ。」と心の底から言っていたそうです。実行委員の子たちの達成感は何倍にも膨れ上がったと思います。

3年生から受け継いだ心意気を2年生が発揮して創り上げ、送る会で共に活動することを通して1年生がしつかりと受け止めています。この送る会を通して、大切なものを得ることができたのだと私自身も心動かされました。